

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 42 号

第 42 週(10月13日～10月19日)

発行年月日:平成20年(2008年)10月23日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

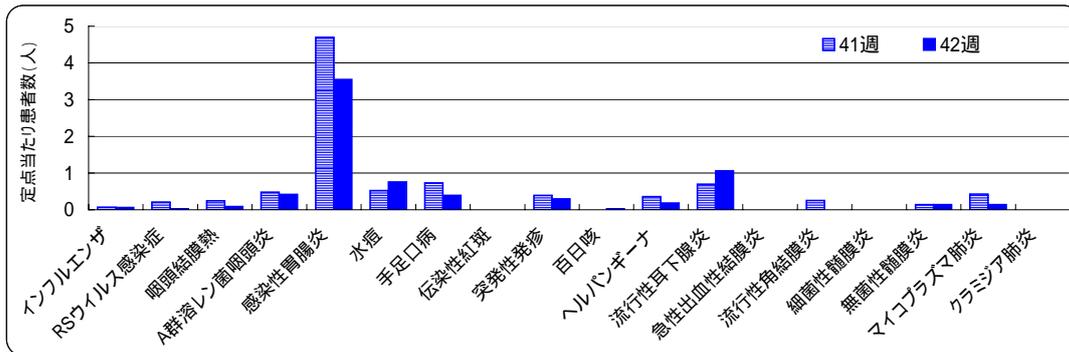
#### 水痘の発生は増加傾向

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりかなり少なくなっています。今週増加した疾患は水痘、百日咳および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)で、他の大部分の疾患では減少しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

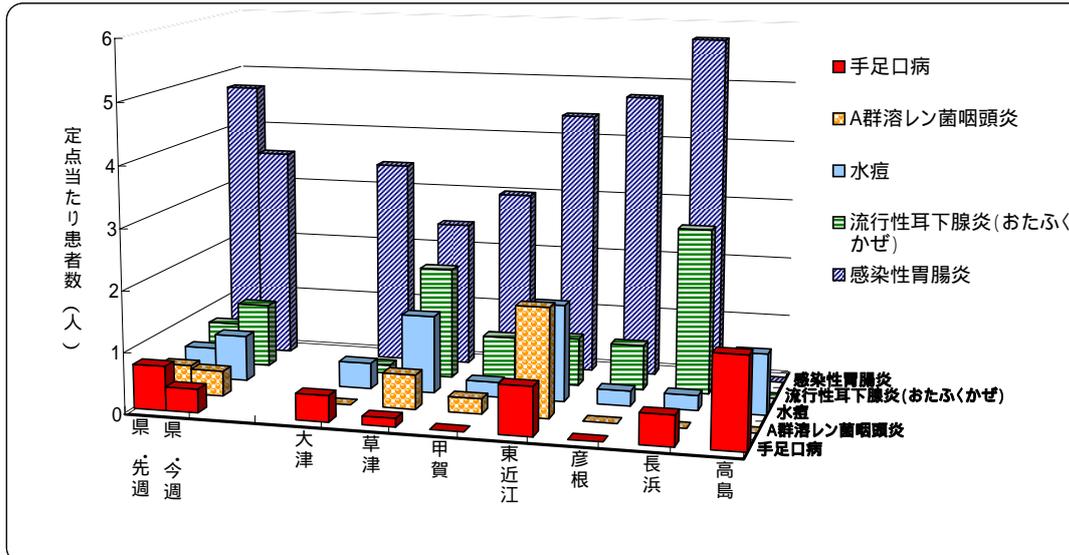
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況は、咽頭結膜熱(プール熱)では大津で第21週(5/19～5/25)に、警報開始基準値(2.00)を超えて以降、連続して警報終息基準値(0.1)を超えています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で8名の届出がありました。

#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)



#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第42週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、手足口病の順に多くなっています。

流行性耳下腺炎は長浜で、A群溶レン菌咽頭炎は東近江で、手足口病は高島でかなり多くなっています。また、水痘は草津、東近江および高島でやや多くなっています。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいますが、届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (42週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (42週)	全国 (42週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	8	226	21,661	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	1	254	<sup>(*)2</sup> 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	49	3,801	55	4,586
	パラチフス	0	0	25	1	22
四類感染症	E型肝炎	0	0	36	1	54
	A型肝炎	0	3	148	1	154
	コクシジオイデス症	0	1	2	0	3
	デング熱	0	1	81	1	89
	マラリア	0	1	47	1	52
	レジオネラ症	0	9	717	8	655
五類感染症	アメーバ赤痢	0	6	679	15	781
	ウイルス性肝炎	0	3	184	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	125	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	98	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	11	1,228	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	67	1	56
	梅毒	0	1	656	2	714
	破傷風	0	5	102	0	88
	急性脳炎	0	1	155	2	216
	風しん <sup>(*)3</sup>	0	2	279	-	-
	麻しん <sup>(*)3</sup>	0	38	10,861	-	-

第41週に届出のあった二類感染症の結核9名のうち2名は、届出基準に合致しなかったため取り下げられました。

\*1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

\*3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第42週(10/13~10/19) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 21例
二類感染症: 結核 239例	A型肝炎 1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 3例
三類感染症: 細菌性赤痢 3例	つつが虫病 2例	ウイルス性肝炎 1例
コレラ 1例	日本紅斑熱 3例	急性脳炎 5例
腸管出血性大腸菌感染症 91例	レジオネラ症 8例	破傷風 2例
腸チフス 2例	レプトスピラ症 2例	風しん 2例
四類感染症: デング熱 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 9例	麻しん 14例
マラリア 2例	梅毒 10例	

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第37~42週、9/8~10/19)

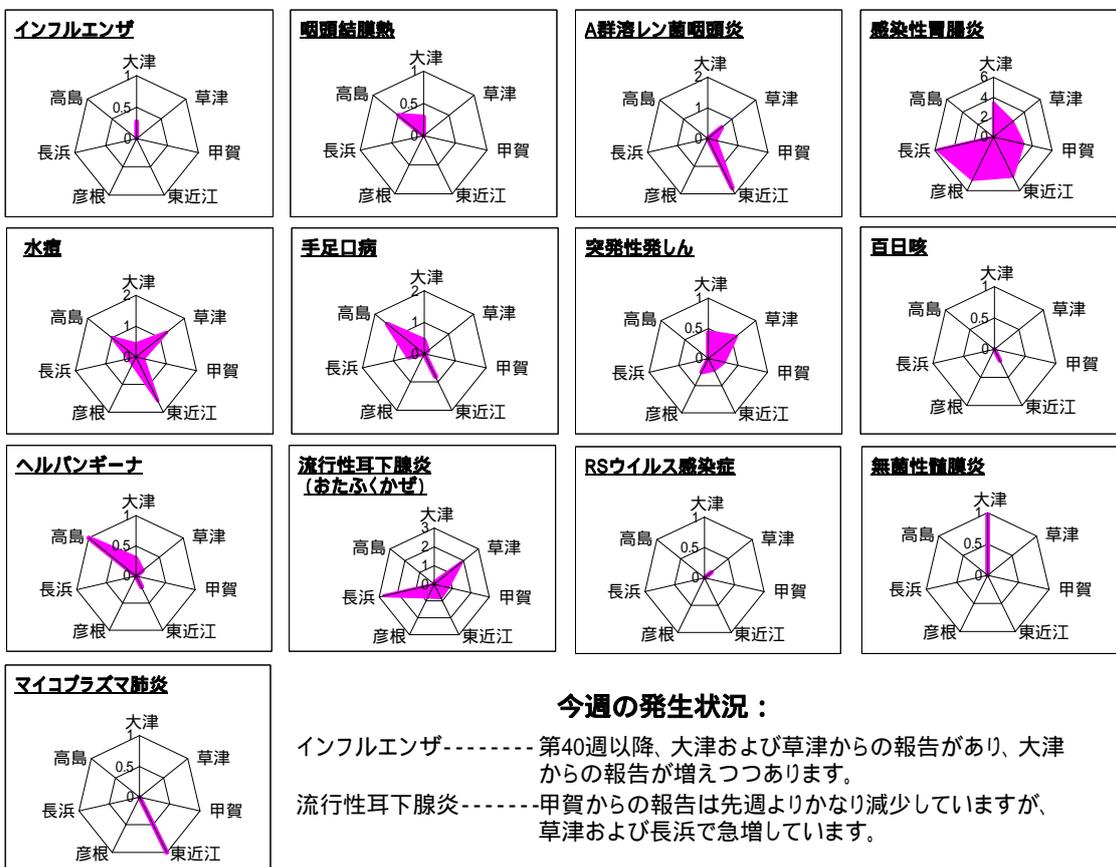
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	37週	38週	39週	40週	41週	42週					
	(9/8~)	(9/15~)	(9/22~)	(9/29~)	(10/6~)	(10/13~)	38	39	40	41	42
インフルエンザ	0	0	0	0.02	0.07	0.06					
RSウイルス感染症	0	0	0.06	0.03	0.21	0.03					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.42	0.24	0.15	0.24	0.24	0.09					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	0.21	0.27	1.18	0.48	0.42					
感染性胃腸炎	4.06	3.21	3.03	3.52	4.70	3.55					
水痘	0.27	0.30	0.48	0.39	0.52	0.76					
手足口病	1.00	0.61	0.52	0.64	0.73	0.39					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0	0	0	0					
突発性発しん	0.64	0.39	0.30	0.24	0.39	0.30					
百日咳	0	0	0	0	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0.70	0.33	0.21	0.27	0.36	0.18					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.52	0.88	0.94	1.12	0.70	1.06					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.13	0.13	0.50	0	0.25	0					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0					
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0	0	0.14	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.14	0.14	0.29	0.43	0.14					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第42週、10/13～10/19)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.06	0.27	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.03	0	0.14	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0.29	0	0	0	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.42	0	0.57	0.25	1.80	0	0	0	
感染性胃腸炎	3.55	3.43	2.43	3.00	4.40	4.75	5.75	0	
水痘	0.76	0.43	1.29	0.25	1.60	0.25	0.25	1.00	
手足口病	0.39	0.43	0.14	0	0.80	0	0.50	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.30	0.43	0.57	0.25	0.20	0.25	0	0	
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.18	0.29	0.14	0	0.20	0	0	1.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.06	0.14	1.86	0.75	0.80	0.75	2.75	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

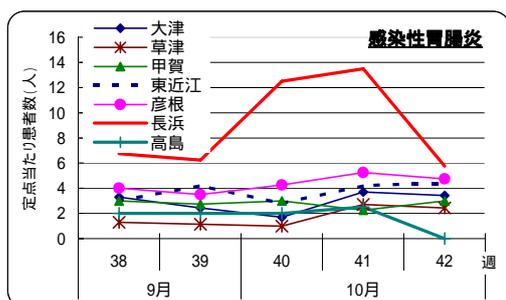
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



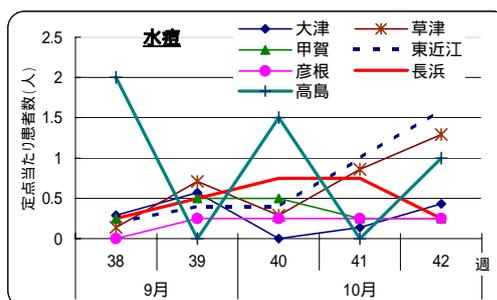
今週の発生状況:

インフルエンザ-----第40週以降、大津および草津からの報告があり、大津からの報告が増えつつあります。  
 流行性耳下腺炎-----甲賀からの報告は先週よりかなり減少していますが、草津および長浜で急増しています。

注目される疾患の週別・保健所管内別発生状況(第38～42週、9.15～10.19)

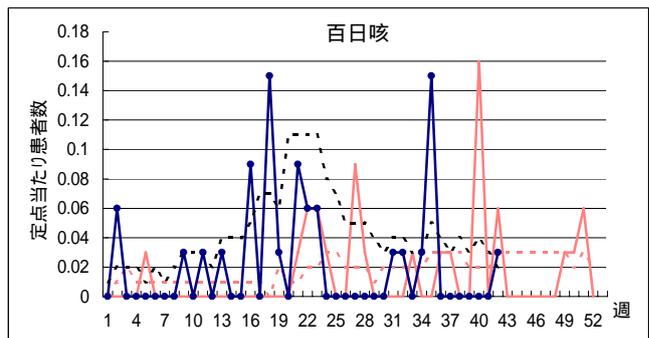
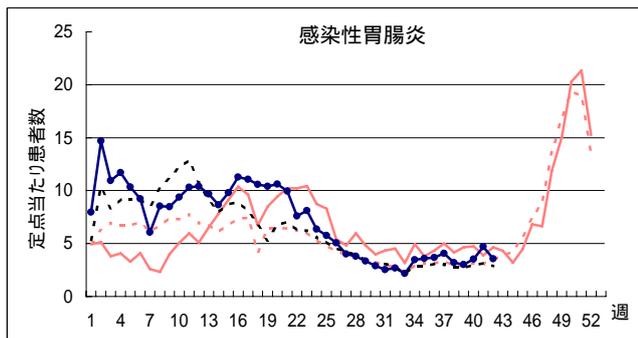
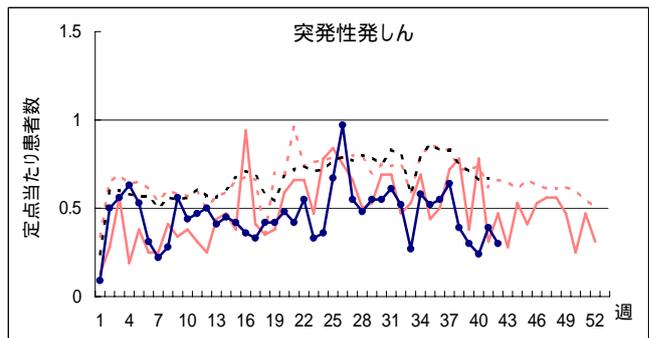
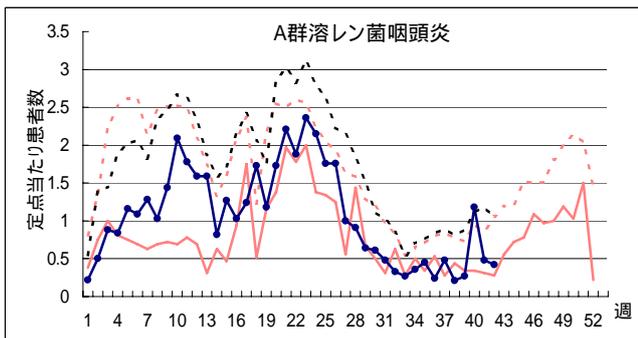
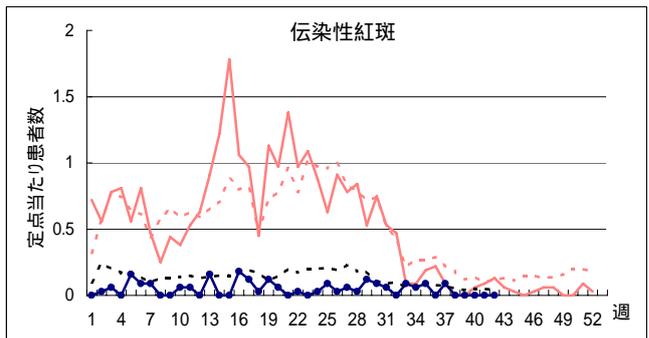
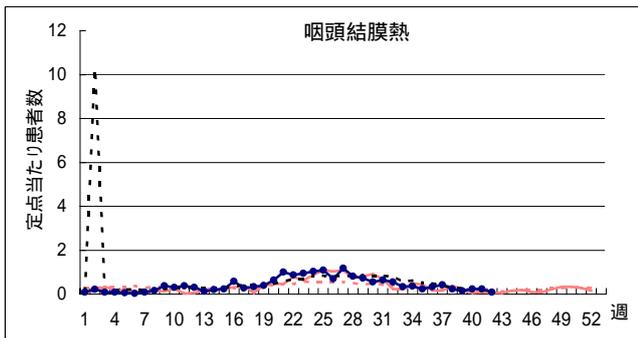
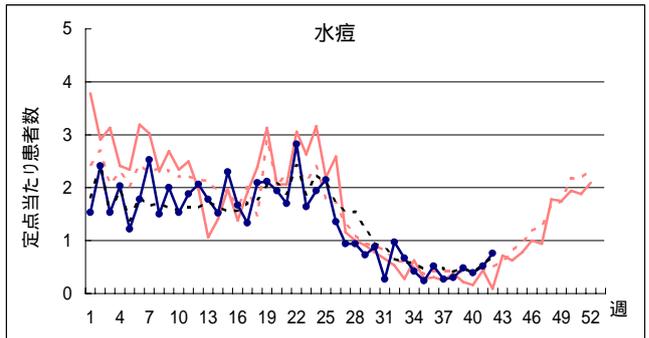
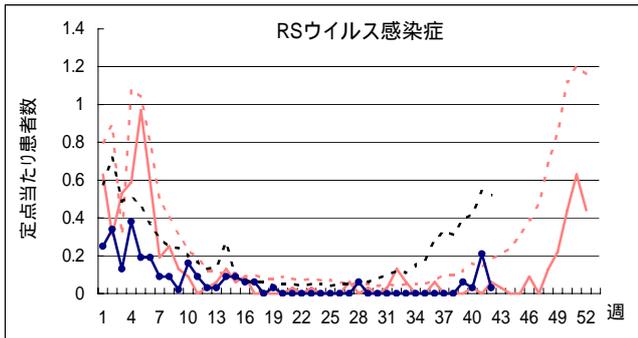
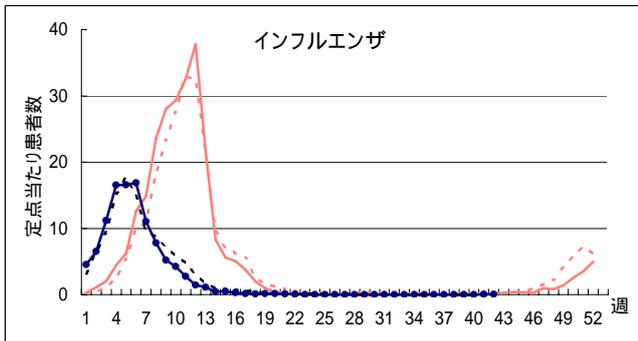


第38週以降、長浜でやや多く発生しています。

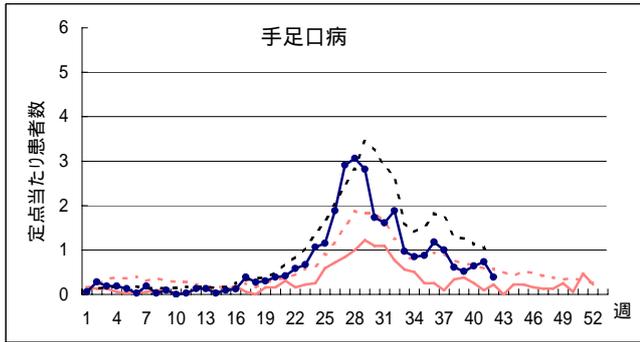


第41週以降、大津、草津および東近江で増加傾向を示しています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第42週、H19.12.31～H20.10.19)



# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第42週、H19.12.31～H20.10.19)



H19 { 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H20 { 滋賀 (solid blue line)  
 全国 (dotted blue line)

